

「子ども安全の日」黙祷の言葉

今日は、かけがえのない「いのち」について話します。正しい姿勢で、真剣にきいてください。そして、心の中にしっかりと受け止めてください。

明日は、11月22日です。広島市では毎月22日を「子ども安全の日」としています。明日は土曜日でお休みの日なので、一日早く、特別にお話をします。今日は「子ども安全の日」として、広島市の子ども達全員で、「いのち」について学ぶ日です。

3年前、平成17年11月22日、広島市安芸区矢野西小学校の1年生「木下あいり」ちゃんが、家に帰る途中に命をうばわれるという事件が起こった日です。朝「いってきます！」と元気いっぱいに出たあいりちゃんが、「ただいま」と家に帰ることができなくなってしまったのです。生きていたら、四年生になっていた木下あいりちゃんです。私は、この言葉を口にすることもつらいのですが、あいりちゃんは、殺されたのです。その時からあいりちゃんの声なきことも、笑顔を見ることもできなくなったのです。どんなにかこわかったことでしょう。助けてあげることができなかったことをお父さんお母さん、先生方、たくさんの人々が苦しみ続けています。

皆さんの中には、かんたんに「死ぬ」「殺す」という言葉をつかってしまっている人がいませんか？ 一人一人が、かけがえのない「いのち」をもって、今、生きているのです。大切な友だち同士なのに、相手の心を傷つける言葉を平気で言っている人がいませんか？ 「バカ」「アホ」「きもい」「うざい」など……。今、みなさんに「いのち」の大切さを伝えるために例としてこのような言葉を言いましたが、私は、どんなことがあっても、人が人にぜったいに言ってはいけない言葉だと思っています。やさしい心をもっている人は、お互いが気持ちよく生活できるやさしい言葉を使える人です。

心が傷つけられてつらい思いをしている人がいるということは、「いのち」が大切にされていないことなのです。みんなが安心して笑顔で生活できる「なかよし皆実っ子」の皆実小学校にしたいと、先生たちは、強く願っています。そして、地域やお家の方々も同じ気持ちで、つらく悲しいことが絶対に繰り返されないために、ボランティアとして、みなさんの登下校の見守りをしてくださっているのです。

教室でも、「子ども安全の日」のこと「いのち」について、担任の先生と学んでください。お家の方とも必ず話し合ってください。

それでは、木下あいりちゃんのご冥福を祈って、黙祷をします。